



## 第2パラグラフ 第1文

La categoria dei vini DOCG comprende i vini prodotti in determinate zone geografiche nel rispetto di uno specifico disciplinare di produzione (approvato con Decreto Ministeriale).

ま あ、ここで文章が終わっています。

次に長い文が控えているので、ここ、ちょっとサッと行きましょう。

さあ、「DOCGワインのカテゴリー」。ワインの場合はですね、「等級」つつたね、確か、うん。「カテゴリー」でも通じるんですけどね。「DOCGワインのカテゴリーは、次の物を含む」。comprendere はいいですね、この場合。「理解する」じゃなくて「含む」ですね。

で、何を含むのかと言ったら、i vini prodotti って、これ vini が名詞ですから、prodotti は、これ名詞じゃなくて過去分詞になっておかないと困りますね。だから「生産されたワイン」という事ですね。in determinate zone geografiche、determinateなんて形容詞、長ったらしいのは、普通は名詞の後ろに置きますね。

(生徒)「はい。」

何で前に置いてあるの？

(生徒)「geografiche の…。」

があるからね、そう。これ、後ろに置くと

geografiche も ある ん で zone geografiche determinate っていう、後ろが長すぎて嫌なの。で、こういう時イタリア人はバランスを取るために、通常後ろに置くといわれている形容詞をですね、まあ1個は前に出すんですね、はい。

で、その時の出し方の原則っていうのは考えた事ある？

(生徒)「ないです。」

ないですか、はい(笑)。結びつきが強い方のものを後ろに置くんだよね。つまりね、zone geografiche って、ちょっと一単語っぽいじゃない。「地理的ゾーン」ですからね。で、determinate はそれよりも独立性が強い形容詞でしょう？だから、そういうかんじになるんですね。

だから、determinate、「一定の地理的な地域」、「地理上の地域で生産されたワインを含む」って書いてある、ね。で、まだ続きがある。

nel rispetto di uno specifico disciplinare di produzione、specifico disciplinare、disciplinare も、ちょっと何か形容詞みたいな格好をしているんだけど、specificoの方は明らかに名詞がないんで、で、それで引いて見てもらえばわかると思うんだけど、これには、disciplinare って言葉には、あの、特別な意味が…あ、調べてあげて、ちょっと。

(生徒)「あ、はい。『規定書?』」

そうですね。あの、「成分規定書」っていう事ですね。あの、何か生産物が、「～は～%～していきやいけない」とかって、そういうのを disciplinare っ



て言うのね。

## 第2パラグラフ 第2文

で、後ろに *produzione* っていうのが付いているんですが、全体で「生産物の成分規定」。で、*specifico* は「特定の」と訳します。いつもあなたに冠詞を教える時に使っている単語です。*specific* ですね。「特定の成分規定」。「それを」ですね、「順守して」という事だ。

*nel rispetto*、*rispetto* というのは、「尊敬する」という意味だけれど、尊敬するからにはその人のいう事を聞きますよね、うん。だから、まあ「法律などを守る」という意味がありますね。*nel rispetto* っで直訳すれば「その規定の順守の中に」って書いてあるわけですから。ですから、「それを守って、ある一定の地域で作られたワインを含んでいます」って書いてある。

で、その、そこにちょっと付けたしがあって、*approvato con Decreto Ministeriale*。*Decreto* っていうのは普通「～令」…例えば「政令」とか「省令」とか「県令」とだよかね。そういうのなんで、後ろに *Ministeriale* とありますから、これは「省令」と訳しますね。大蔵省の「省から出た」、これは大蔵省じゃないけれども、農林省でしょうけれども、その省で出された政令のことを「省令」と言うの、ね。

それでもって、*approvare*、*approvare* も法律でよく使う言葉で「認められた」。いいですね。

ですからこの場合、この文は第3文型ですね。i *vini prodotti* 以下にですね、非常に長い修飾語句が着いているだけで、文章としては I love you 型の文ですね。

はい、よろしければ次へ行きます。

Le DOCG sono riservate ai vini già riconosciuti denominazione di origine controllata (DOC) da almeno cinque anni che siano ritenuti di particolare pregio, in relazione alle caratteristiche qualitative intrinseche, rispetto alla media di quelle degli analoghi vini così classificati, per effetto dell'incidenza di tradizionali fattori naturali, umani e storici e che abbiano acquisito rinomanza e valorizzazione commerciale a livello nazionale ed internazionale.

Le DOCG sono riservate ai vini già riconosciuti denominazione di origine controllata (DOC) da almeno cinque anni che と、ここで関係代名詞が出て来ましたから、ちょっとその、ここまで切ります。

あ、今日一回目なのにまだ言ってない…えーっと、あなたに普段、あの、言っている事をちょっと言わなかったけれども。単語が、ね、10個、15(個)過ぎたら、もう大体、節が一回終わっているはずなんです。

(生徒)「はい。」

いきなりこの、もしテープを聞いた方、テープじゃないか。放送を聞いた方には、ちょっとわかりにくいかもしれないんですが、イタリア語ってのは、何分、長い文が多いもんですから、大体その節とか、従属節とか、ジェルンディオとか、長い長い同格語とか、等位接続詞、&にあたる *e* で結ばれている